

研究方法（研究方法総論）

更新日：2022/01/27 12:00:42

開講年度	2022	学期	前期	シバースト*	88060		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	2.0	科目コード	880600
担当教員	中村 光江, 姫野 稔子, 倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：必修 授業形態：講義						

授業の目的

看護・保健領域における研究方法の基本概念および考え方を修得する。実践における研究活動に必要な基礎的能力を修得することができる。

到達目標

1	量的研究法と質的研究法の基盤となる考え方及び研究方法の基本を理解できる
2	Research Question と研究目的に応じて最適の研究デザインを選択できる
3	研究計画書作成のステップを理解することができる
4	臨床での事象を研究活動に結び付けることができる

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	研究の概要と研究過程 【授業内容】看護における研究の意義と役割、看護研究の発展の経緯を学び、研究過程を概観する。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第1章（A, B, C）及び第2章を熟読し、疑問点を整理しておく 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
2	Research Question と研究目的に応じた研究デザインの選択 【授業内容】基本的な研究デザインを概観し、Research Question と研究目的に応じた研究方法選択の基準を学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】60分：テキスト第2章（A, B）、第4章、第5章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
3	文献レビューと文献クリティーク 【授業内容】研究における文献レビューやクリティークの意義を理解し、基本的な文献レビューやクリティークの方法を学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第3章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
4	研究における研究倫理の確保、研究の限界 【授業内容】研究倫理の基本と研究倫理を確保する具体的方法について学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第1章（D, E）を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
5	研究計画書作成のステップ 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分：テキスト第6章を熟読し、疑問点を整理しておく。 【復習】60分：授業内容をまとめ、小テストを復習する。 【担当】中村
6	量的研究の主な研究デザイン① 【授業内容】量的研究とは？量的記述的研究デザインおよび研究の枠組みについて学ぶ 【授業方法】講義・小テスト 【予習】30分 第2回目講義の関連箇所について復習する。 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野
7	量的研究デザイン② 【授業内容】仮説検証型デザイン、因果関係の検証デザインについて学ぶ。測定用具の信頼性と妥当性について学ぶ。 【授業方法】講義・小テスト 【復習】30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】姫野

8	量的研究の具体的な進め方① 【授業内容】 量的研究における仮説、標本抽出の種類、データ収集方法を学ぶ。 【授業方法】 講義・小テスト 【予習】 30分 テキスト第7章を熟読しておく。 【復習】 30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】 姫野
9	量的研究の進め方②データの分析方法 【授業内容】 記述統計・推測統計について学ぶ 【授業方法】 講義・小テスト 【予習】 30分 テキスト第8章を熟読しておく。 【復習】 30分 小テストの内容を中心に復習する。 【担当】 姫野
10	質的研究の特質と目的 【授業内容】 質的研究方法の特質、基盤となる考え方、目的、質的研究の種類について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 配布する論文を一読する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
11	質的研究におけるデータ、データ収集 【授業内容】 質的研究における研究の場と時間枠、サンプリング、サンプルサイズ、データの集め方について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
12	質的研究におけるデータ分析 【授業内容】 質的研究方法のデータ分析方法について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
13	質的研究のまとめ方、質的研究における真实性と質の確保 【授業内容】 質的データを用いた論文のまとめ方、プレゼンテーションの仕方、質的研究における真实性と質の確保について学ぶ。 【授業方法】 講義 【予習】 前回の講義内容を確認する。 【復習】 授業の要点をまとめる。 【担当】 倉岡
14	ディスカッション1 質的研究クリティーク・フィードバック 【授業内容】 事前を選択した質的研究のクリティークに関するディスカッションを通して、質的研究方法への理解を深める。 【授業方法】 GW・発表・ディスカッション 【予習】 90分：指定された質的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】 30分：ディスカッションを参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】 中村・姫野・倉岡
15	ディスカッション2 量的研究クリティーク・フィードバック 【授業内容】 事前を選択した量的研究のクリティークに関するディスカッションを通して、量的研究方法への理解を深める。 【授業方法】 GW・発表・ディスカッション 【予習】 90分：指定された量的研究をクリティークし、疑問点をまとめる。 【復習】 30分：ディスカッションを参考にクリティーク内容を修正する。 【担当】 中村・姫野・倉岡

学習方法

- ・ 学士課程において修得しておくべき知識については、各自学習してから参加してください。
- ・ 授業は、教員による講義および教員・院生間による討論にて進めます。
- ・ 自分の修士論文のテーマを意識して事後学習をしてください。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します

中村：火曜日の昼休み, m-nakamura@jrckicn.ac.jp

姫野：火曜日の昼休み, t-himeno@jrckicn.ac.jp

倉岡：月曜日の昼休み, y-kuraoka@jrckicn.ac.jp

テキスト

南裕子, 野嶋佐由美編：看護における研究 第2版. 東京, 日本看護協会出版会, 2017

萱間真美：質的研究実践ノート. 東京, 医学書院, 2007

参考文献

- ・ Grove, S. K., Burns, N., Gray, J. R.:The Practice of Nursing Research [7th edition] Appraisal, Synthesis, and Generation of Evidence. 2013, 黒田裕子, 中木高夫, 逸見功監訳：バーズ&グローブ [原著第7版] 看護研究入門—評価・統合・エビデンスの生成—. 東京, エルゼビア・ジャパン, 2015.
- ・ Polit, D. F., Beck, C. T.:Nursing Research 2th Edition Principles and Methods. 2004, 近藤潤子監訳：看護研究 原理と方法 (第2版). 東京, 医学書院, 2010.

評価方法

授業参加度 (20%)、試験 (80%)

研究方法B- I（質的研究方法の基礎）

更新日：2022/01/28 13:52:37

開講年度	2022	学期	後期	シバースト [®]	88080		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	880800
担当教員	倉岡 有美子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。

到達目標

1	データ収集方法について、演習によりデータ収集を体験し、質的データの意味について理解することができる。
2	データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。
3	質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	質的研究の特徴 【授業内容】研究方法（研究方法総論）で学習した質的研究の特徴について復習、模擬データ収集のためのリサーチクエスチョン検討、インタビューガイドの作成 【授業方法】講義、演習 【担当】倉岡
2	質的データとは（1） 【授業内容】質的データ収集演習（1）インタビュー演習 【授業方法】演習 【担当】倉岡
3	質的データとは（2） 【授業内容】質的データ収集演習（2）逐語録の作成 【授業方法】演習 【担当】倉岡
4	データの分析方法（1） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
5	データの分析方法（2） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
6	データの分析方法（3） 【授業内容】コード化、カテゴリー化 【授業方法】模擬データによる演習 【担当】倉岡
7	質的研究におけるデータ分析後の解釈（1） 【授業内容】分析結果の全体発表① 【授業方法】発表と討議 【担当】倉岡
8	質的研究におけるデータ分析後の解釈（2） 【授業内容】分析結果の全体発表② 【授業方法】発表と討議、フィードバック 【担当】倉岡

学習方法

研究方法（研究方法総論）で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的記述的研究でのデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。

オフィスアワー

金曜日の昼休み、もしくはメール（y-kuraoka@jrckicn.ac.jp）にてアポイントをとってください。

テキスト

萱間真美：質的研究実践ノート．東京，医学書院，2007．

参考文献

- ・ グレッグ美鈴，麻原きよみ，横山美江：よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして第2版．医歯薬出版，2016．
- ・ Immy Holloway, Stephanie Wheeler：Qualitative Research in Nursing (2nd) ．2002, 野口美和子監訳：ナースのための質的研究入門．東京，医学書院，2006．
- ・ Margarete Sandelowski:10 Key Questions Over Qualitative Research. 2013, 谷津裕子・江藤裕之訳：質的研究をめぐる10のキークエスチョン．東京，医学書院，2013．
- ・ 佐藤郁哉：質的データ分析法 原理・方法・実践．東京，新曜社，2008．
- ・ 松葉祥一・西村ユミ編集：現象学的看護研究－理論と分析の実際．東京，医学書院，2014．
- ・ 川喜田二郎：発想法．東京，中公新書，1967．
- ・ 山浦晴男：質的統合法入門 考え方と手順．東京，医学書院，2012．

評価方法

演習課題 (50%) レポート (50%)

研究方法 A-II (量的研究方法)

更新日：2022/02/03 13:04:23

開講年度	2022	学期	後期	シバースト*	88090		
学年	1	曜日/時限	—	単位数	1.0	科目コード	880900
担当教員	姫野 稔子						
学部/学科	大学院 修士課程						
備考	必修/選択：選択 授業形態：講義						

授業の目的

調査研究における質問票の作成、調査の実施、回収した質問票の扱い方、分析の手法を実践を通して習得する。

到達目標

1	研究の枠組みの作成方法を理解することができる。
2	研究の枠組みと質問票の関係を理解することができる。
3	測定用具の開発方法を理解することができる。
4	データ収集・データクリーニング・データコーディングの方法を理解することができる。
5	SPSSを用いた分析方法を理解し、実施することができる。

DPとの関連

DP1 ○

DP3 ◎

DP4 ○

授業計画

1	調査研究の進め方 【授業内容】 【授業方法】 講義
2	質問紙の作成方法・データ収集方法 【授業内容】 【授業方法】 講義
3	研究の枠組みの作成方法（1） 【授業内容】 理論的枠組みの作成方法を理解する 【授業方法】 講義
4	研究枠組みの作成方法（2） 【授業内容】 概念枠組みの作成方法および測定用具の開発・使用のルールについて理解する 【授業方法】 講義
5	データ入力とデータクリーニングの方法 【授業内容】 回収した調査票のデータクリーニングの方法を理解する。 【授業方法】 講義
6	コーディング表の作成とデータコーディング 【授業内容】 回収した調査票の結果をコーディングする方法を理解する 【授業方法】 演習
7	Excell への入力、ダブルエントリー、データクリーニング 【授業内容】 調査結果を入力し、ダブルエントリーおよびデータクリーニングする方法を理解する。 【授業方法】 演習
8	Excell データを SPSS に読み込む。データの加工と分析方法 【授業内容】 SPSS の構成を理解し、データの加工の方法および分析方法を理解する。 【授業方法】 演習

学習方法

事前学修としては、研究方法の量的研究の内容及び研究方法 A-I の内容の既習箇所を復習しておくこと。提示した資料及び理解を促進するための文献を熟読しておく。事後学修としては、毎回の資料を復習し、理解が十分でない箇所を次回に質問する。単元の後半は、配布されたフォーマットに架空の調査データを入力して授業資料とし、それをもとに演習を展開する。その際はSPSSを搭載したPCを使用する。

オフィスアワー

以下の時間帯およびメールでのアポイントメントにて設定します。

姫野：金曜日の昼休み、t-himeno@jrckicn.ac.jp

テキスト

特に指定しない。授業内にて適宜指示する。

参考文献

- ・古谷野亘・長田久雄：実証研究の手引き—調査と実験の進め方・まとめ方—。東京，ワールド プランニング，1992。
- ・竹原健二・渡辺多恵子：看護・医療系の調査研究エッセンス。東京，医学書院，2010。

評価方法

レポート及び課題（60%），授業参加度（40%）